

2012年5月21日

阪神電気鉄道株式会社
神戸高速鉄道株式会社

三宮駅 下り線と折り返し線を入れ替えます

～更に、関西私鉄で初めて発光式列車案内表示器をホーム床面に設置、
ますます快適・安全な駅に～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：藤原崇起）と神戸高速鉄道株式会社（本社：神戸市中央区、社長：嶋井敬司）では、2007年から改良工事を行っている三宮駅において、線路及びホームの切り替え工事を実施し、6月2日（土）から、現在の2番線（下り線：姫路方面行き）を折り返し線として大阪難波・奈良方面行きに、現在の3番線（折り返し線：大阪難波・奈良方面行き）を姫路方面行きに変更します。

これにより、新たに梅田方面行き線路（1番線）と大阪難波・奈良方面行き線路（2番線）がホームを介して、隣り合わせとなり、姫路方面からの列車から、大阪難波・奈良方面行き列車への乗り継ぎは、改札階に移動することなく行えるようになります。

この乗り継ぎは、工事の進捗状況を勘案して、当面、ホームの一部区間に限定させていただきますが、秋頃には、ホーム全面にわたってご利用頂けるようになり、更に便利になる予定です。

また、三宮駅では、ホームからの転落防止対策及び列車との接触防止対策として、お客様に列車の接近・発車をお知らせする発光式（LED）の列車案内表示器を、今年夏からホーム床面に順次設置します。

この案内表示器は長さ1.5mの表示器を黄色い点字タイルに沿って（列車側）、3mの間隔で床面に埋め込むもので、列車接近時には、橙色灯が進行方向に向かって順次流れるように点滅、停車時には点灯、発車時には再度点滅することで、お客様に列車の動きをお知らせします。

表示器は、本年秋頃から順次作動させ、年度内にはすべてのホームで作動する予定です。

なお、三宮駅の改良工事は2013年春にすべて完了する予定です。

以上

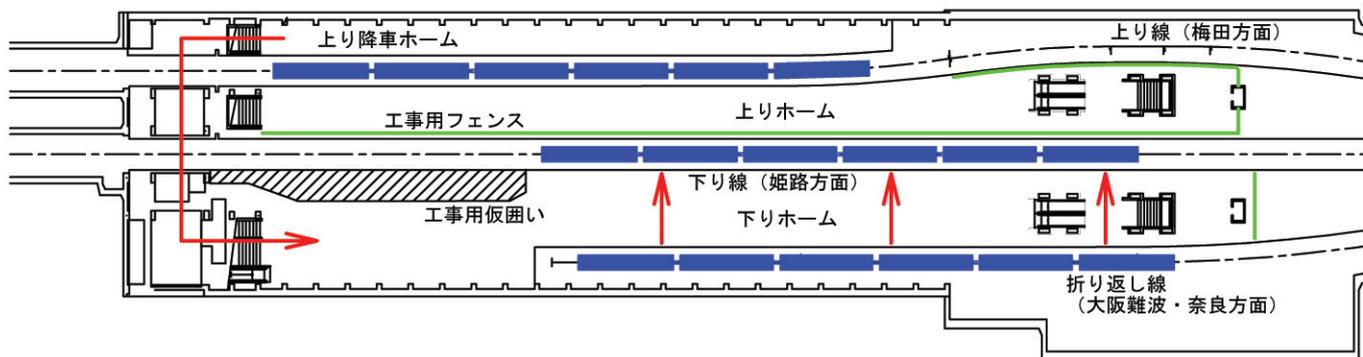
<添付資料> 三宮駅ホーム状況図、発光式列車案内表示器イメージ写真

現在

三宮駅ホーム状況図

元町方

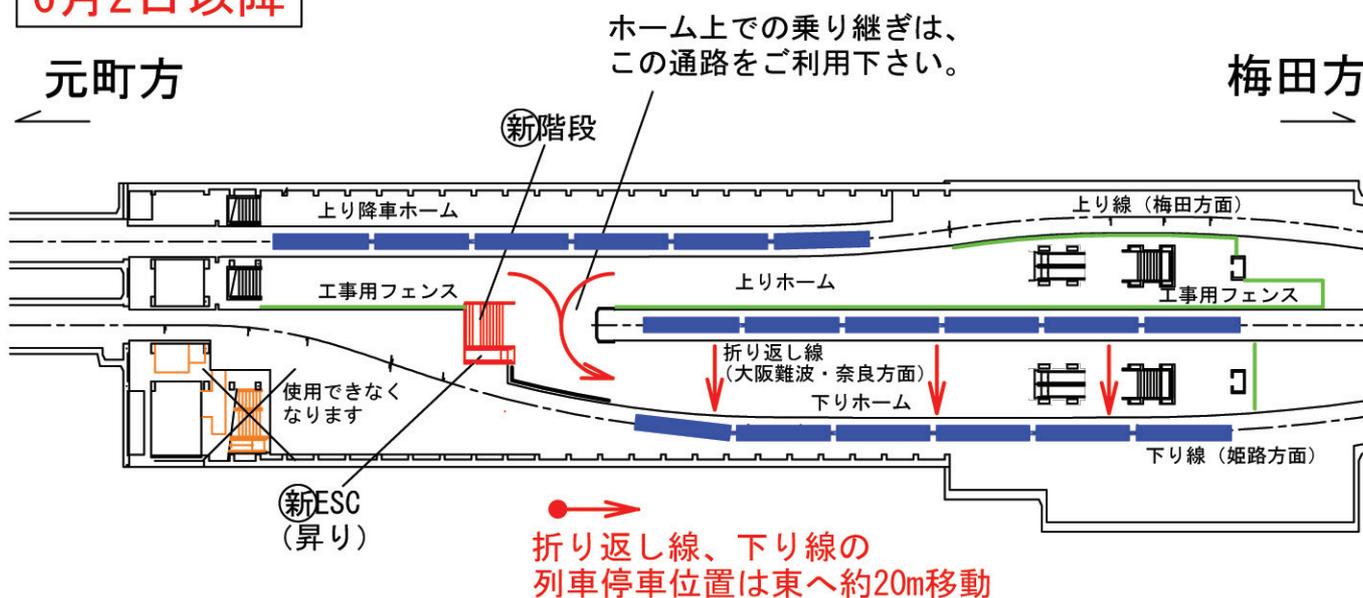
梅田方



6月2日以降

元町方

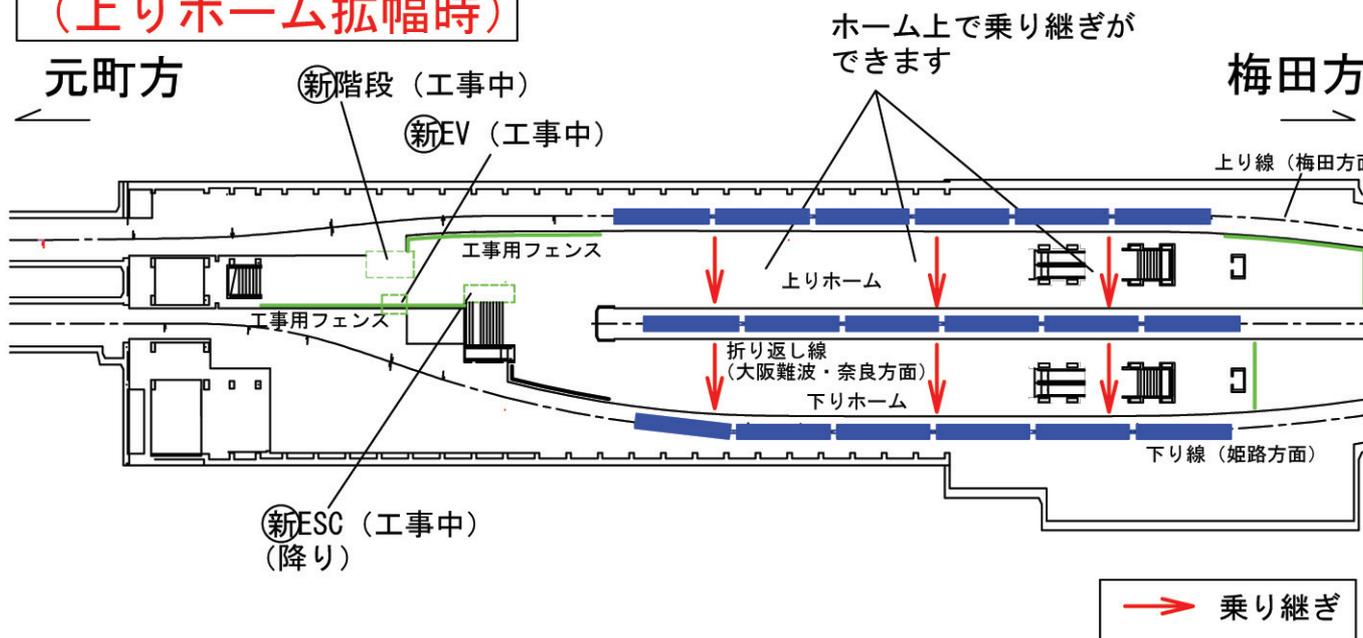
梅田方



2012年秋頃
(上りホーム拡幅時)

元町方

梅田方



発光式列車案内表示器（ホーム床面埋込式）イメージ写真

